

各関係機関・団体長 様

愛媛県病害虫防除所長

病害虫防除技術情報（第1号）の送付について

このことについて、次のとおりお知らせしますので、御参照の上、防除指導方よろしく申し上げます。

1 情報の内容 **キウイフルーツ花腐細菌病に対する防除の徹底について**

2 今後の発生程度：**やや多～多**

3 発出の根拠

- (1) 4月21日発表（高松地方気象台）の1か月予報では、降水量は多く、日照時間は少ないとされており、発生に助長的である。
- (2) 4月下旬以降天候不順が続いており、5月6日（2週目）まで平年に比べ晴れの日が少ないとされており感染に好適な条件が続くものと予想される。

4 防除上の注意

- (1) 通風、採光及び排水を良くする。
- (2) 新梢長約10cm頃までに、コサイド3000の2,000倍、カスミンボルドー1,000倍、銅ペーパーシン水和剤1,000倍（いずれの剤も炭酸カルシウム剤200倍加用）を散布する。
- (3) 天候不順が続く場合には、抗生物質（アグリマイシンー100 1,000倍、カスミン液剤400倍、アグレプト水和剤1,000倍、マイシン20水和剤1,000倍）を開花10～20日前に散布する。



写真 キウイフルーツ花腐細菌病の病徴（品種：ヘイワード）